
第4章

水道事業の目指す理想像

第4章 水道事業の目指す理想像

1. 水道事業の理想像

1) 基本理念

水道事業では、今後50年、100年先の未来までも、生活に欠かせない安全な水道水を送りつづけ、水道を大切にする市民の意識、職員の知識を育み、市民と協力して安定した水道事業を継続していけるように、基本理念を定めました。

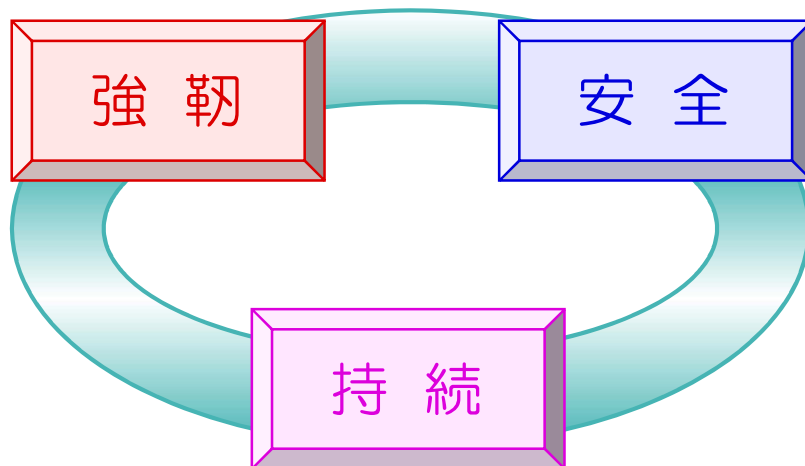
基本理念

人を守り 未来へつなぐ
みさとの水道

～手を取り合って 人を育み 暮らしをささえる～

2) 水道事業の目指す理想像

基本理念に基づき、厚生労働省の「新水道ビジョン」で掲げている「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から、みんながいつも通りに使える安心安全な水道、どんな災害が起きても給水を止めない水道、市民と地域に寄り添って成長していく水道を目指して、それぞれの理想像を定めました。



理想像



みんなを守る水道 **安全**



さいがい 災害に強い水道 **強靱**



ともに歩む水道 **持続**

2. 計画給水人口・配水量

理想像を目指すにあたり、計画給水人口、計画一日最大配水量を推計し、次のように設定しました。

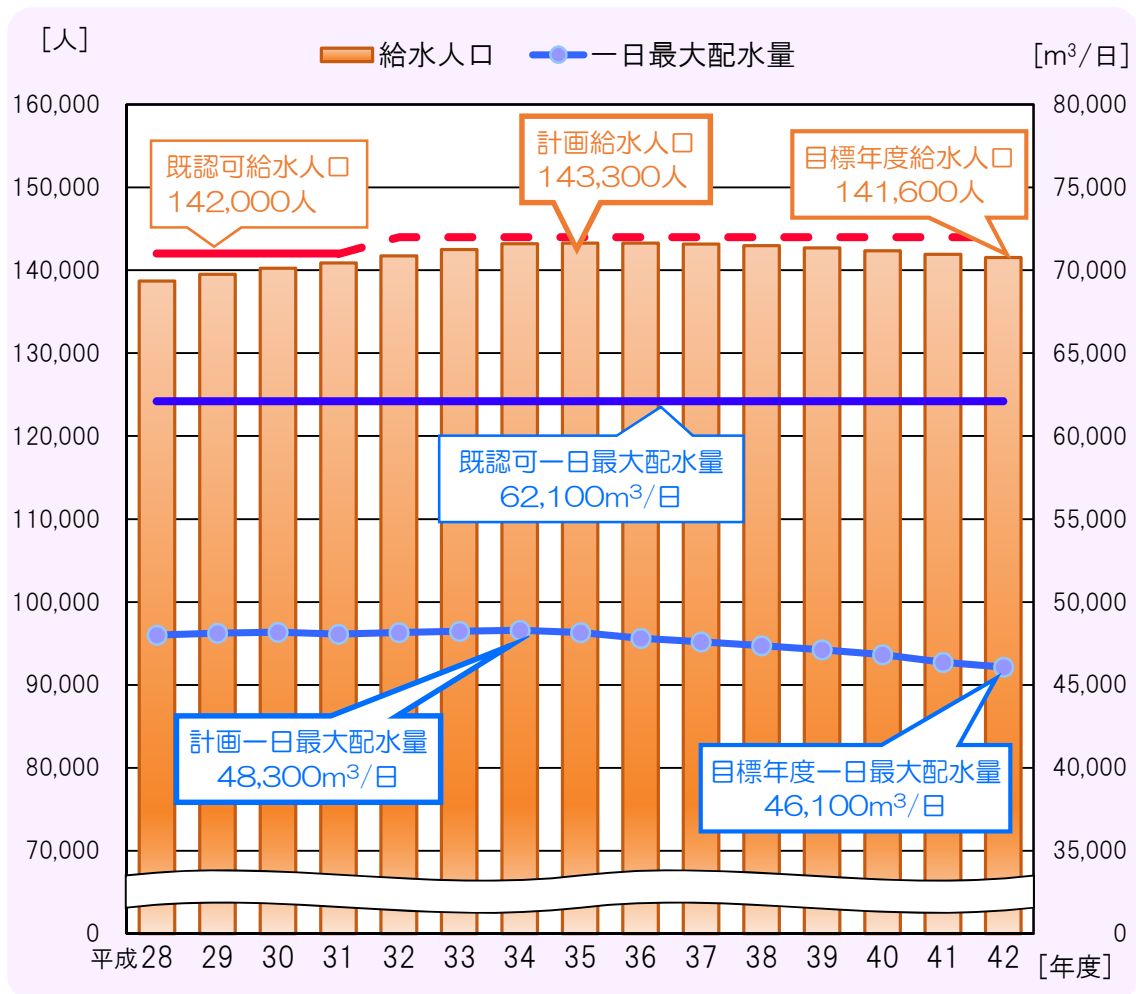


図 4-1.推計給水人口・配水量